

第3次稚内市総合計画 施策実施状況調査

02 愛情あふれるきずなの形成

01 地域福祉の推進

03 高齢者の社会参加、生きがいつくりの推進

主要施策	施策実施状況(※1)						問題点、課題
	実施 状況	進捗率		第4 次 の 方 向 性	小項目の総合的評価		
		(%)	ペース		評価	評価内容	
10 高齢者就業機会の拡大(シルバー人材センターの充実など) (水産商工観光課)	4		4	1	2	・特定公益法人(社)北海道シルバー人材センター連合会を通じ、独立した活動している。	・シルバー人材センターは既に組織化、ネットワーク化も図られていることから、計画事業化の必要はないと考えられる。
20 シルバーボランティア活動の育成・支援 (介護高齢課)	4	100%	1	1	1	・老人クラブ連合会、単位クラブとも活発に活動をしている。	・シルバーボランティアのみならず、各種ボランティアとの連携を図り、多目的にできるボランティアの仕組みづくりが必要。
30 伝統的文化等の伝承、普及活動の奨励 (介護高齢課)	4	100%	3	1	1	・各事業とも事業認知度が高く、利用者数についても増加傾向にある。	・対象者数の増加に伴い、財源確保の維持が厳しい状況にある。
40 生きがいや健康づくりなど学習機会の提供 (介護高齢課)	4	100%	1	1	1	・高齢者健康コンクール(健康意識の向上)、敬老の日記念事業(高齢者への敬愛)、老人入浴券交付事業(健康増進、100円負担)、敬老年金支給事業(社会貢献)それぞれの役割を十分に果たしている。 ・各事業とも事業認知度が高く、利用者数についても増加傾向にある。長寿ふれあい交流事業については、70町内会全てで実施されており、敬老会等の開催経費に役立てられている。	・高齢者への敬愛と健康増進を図るため今後も継続していくべきであるが、敬老年金の支給対象年齢の検討や高齢者増に対応すべく財源の確保に努める必要がある。
50 社会参加への支援 (介護高齢課)	4	100%	1	1	1	・高齢者社会参加活動推進事業(バス、100円負担)、長寿ふれあい交流事業(各町内会における高齢者の交流)を行っている。	・対象者数の増加に伴い、財源確保の維持が厳しい状況にある。 ・高齢者バス、入浴支援、敬老祝金の高齢者三事業については、平成14年度に見直しを実施し、5年を経過していることから、具体的な数値等を示しながら検証が必要である。高齢者の定義について、設定年齢が統一されていない状況にあり(65歳以上とか70歳以上など)、今後検証し、稚内市保健福祉審議会に諮問が必要である。